

近畿地域福祉学会 平成 28 年度大会

開 催 要 項

平成 28 年 10 月 6 日

1. テーマ

『実践者』から考える地域福祉の展望

2. 趣 旨

平成 27 年 9 月に厚生労働省より「新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム」報告が示され、多機関の協働による全世代・全対象型地域包括支援体制の構築に向けて、総合的な人材の育成・確保が目指されている。また一方で、生活困窮者自立支援事業や介護保険改正においても「地域」の役割が重視され、高齢者や当事者、ボランティア等が新たな社会資源や担い手といった文脈で期待されている節もあり、地域福祉関係者としてはその内容を注視しなければならない。

こうした情勢に対して、当事者も研究者もその姿勢が問われるが、今回は大阪だからこそあえて実践者にこだわり、そこから地域福祉を展望することを試みたい。大阪府はかつて方面委員制度（現行の民生委員・児童委員の前身）を創設し、地区福祉委員会組織化や当事者組織化支援といったコミュニティワーク実践に取り組み、また近年ではコミュニティソーシャルワーカーを配置するといった実践において全国をリードしてきた歴史がある。そうした大阪だからこそ、実践者はどのような実践をデザインできるのか、という問い合わせに対して切り拓ける展望があると考える。

今大会においても、基調セッションやパネルディスカッションに加え、自由論題での研究発表、実践報告を設ける。それぞれのプログラムを通じて、地域福祉における近畿の研究者や実践者間の研究協議・情報交流の活性化を図りたい。

3. 主 催 近畿地域福祉学会 平成 28 年度大会実行委員会

4. 共 催 (福) 大阪府社会福祉協議会 (福) 大阪市社会福祉協議会 (福) 堺市社会福祉協議会

5. 開催日時 平成 28 年 12 月 17 日 (土) 10:00 ~ 17:15

6. 会 場 大阪社会福祉指導センター 5 階 ホール ほか

※交流会(近隣／別会場)を予定しています。事前にお申込みください。

7. 定 員 200 名

8. 対 象 日本(近畿)地域福祉学会会員、社会福祉協議会役職員、
社会福祉・地域福祉関係者、社会福祉施設役職員、行政職員、
民生委員・児童委員、NPO関係者、学生、その他関心のある方

9. 参加費等

- (1) 学会参加費(資料代) … 学会員・学生：500 円 学会員外(一般)：1,000 円
※当日支払可能。可能な限り事前に指定口座にお振込みいた
だければ幸いです。
- (2) 交流会参加費…………… 5,000 円 (※当日お支払いください。)

10. 参加申込み

- (1) 参加申込みは、所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、平成 28 年 12 月 5 日(月)までに事務局(要項 11.)宛に、郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法で送付願います。

(2) 参加費は、当日受付でお支払ください。

なお、事前にお振込みいただける場合は、次の指定口座に平成28年12月9日(金)までに送金願います。

※振込手数料は、申込者でご負担願います。

※送金いただいた参加費は理由の如何に関わらず返金しません。

〈指定口座〉

| | |
|------|-----------------------|
| 銀行名 | りそな銀行 |
| 支店名 | 大手支店 (おおてしてん 店番: 121) |
| 種類 | 普通 |
| 口座番号 | 0086318 |
| 口座名義 | 近畿地域福祉学会大阪大会 事務局長 森垣学 |

(3) 本大会実行委員会は、本申込書等に記載された個人情報について、参加者との間の連絡に利用させていただくほか、参加手続きに必要な範囲で利用させていただきます。

(4) 手話通訳、要約筆記、その他の介助等の配慮が必要な方は、参加申込書の通信欄に具体的にご記入願います。

1.1. 申込み、問い合わせ先

近畿地域福祉学会平成28年度大会実行委員会事務局

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 (担当: 多田・神谷・片岡)

大阪府大阪市中央区中寺1丁目1-54

TEL 06 (6762) 9473 FAX 06 (6762) 9487

E-mail tetsuji.kataoka@osakafusyakyo.or.jp

1.2. 日程および内容

| 時間 | 主な内容 | |
|-------------|--|--|
| 9:30~10:00 | 受付 | |
| 10:00~12:00 | 《自由研究発表・実践活動報告》 近畿地域福祉学会では、研究交流や情報交流の場づくりの一環として、本年度も、研究発表、実践活動報告を募集します。特に、若手研究者や社会福祉協議会等の地域福祉実践に取り組む皆様のご応募をお待ちしています。 ※1人あたりの発表時間は20分間・質疑時間は10分程度とします。 ※詳しくは募集要項をご覧ください | 《大阪府社協独自プログラム》 大阪府社協では、さまざまな子どもの居場所づくりに取り組む団体・グループが一同に会し、ともに知り合い、学び合う機会とするために「子どもの居場所づくりフォーラム」を開催します。詳細は大阪府ボランティア・市民活動センターホームページ(10月中旬より掲載予定)をご参照ください。 |
| 12:00~13:00 | ～昼食休憩～ | |
| 13:00~13:30 | 平成28年度近畿地域福祉学会 総会 | |
| 13:30~13:40 | 開会 主催者挨拶 実行委員長 | 開催地挨拶 大阪府社会福祉協議会 |
| 13:40~14:30 | 《基調セッション》 「近畿における地域福祉研究と実践の協働」 【報告者】 桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授 松端克文 氏 関西大学 人間健康学部 教授 所めぐみ 氏 | |

| | |
|-------------|---|
| | 近畿では、研究者と現場実践者がともに研鑽して地域福祉に取り組んできた歴史があります。2人の研究者から、実践者に期待するメッセージや、研究と実践の協働について提言していただきます。 |
| 14:30～14:40 | 休憩 |
| 14:40～17:10 | 《パネルディスカッション》 |

テーマ：「地域福祉の現在と未来を語ろう」

生きづらさやさまざまな暮らしの困りごとを抱えた方を前にしたとき、住民、民生委員・児童委員、ボランティア、当事者やその家族、行政職員、専門職として、わたしが、誰と誰が、どんな機関・団体と、地域でできることは何なのか…。

今回のパネルディスカッションでは、さまざまな立場の地域福祉実践者にスポットを当て、出発点（想い）や実践の転機（当事者や仲間との出会い、インパクトのある出来事）、悩みや手応え、これから夢や、ともに実践していく研究者や仲間に伝えたいことなどを、実践者の立場から語っていただき、大阪の、近畿の、日本の地域福祉の未来をともに構想していきます。

【パネリスト】

- 「 乳幼児から親子、高齢者までつながるまちづくり ~その想い・夢~ 」

特定非営利活動法人 ハートフレンド 代表理事 徳谷章子 氏

子どもが主人公に、親同士が子育てを支えあえる場づくりを目指して。顔が見える地域づくりを10年以上にわたり実践してこられています。地域で実践を切り拓いてきたリーダーとして、その出発点や原動力（行動力）、つながっていくことの苦労や喜び、活動に込めた願い・夢を語ってもらいます。

- 「 地域とともに歩む社会福祉法人 ~ソーシャルワーク実践を通して~ 」

社会福祉法人豊年福祉会 松葉智子 氏

在宅介護支援センターのソーシャルワーカーとして、生活困窮者レスキュー事業のCSWとして。法人独自に設立している地域福祉サポートセンタースタッフとして。地域を基盤としたソーシャルワーク実践を紐解いていただきます。

- 「 社協ワーカーとしてこだわっていきたいこと 」

社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会 在宅ケアセンター長 高田浩行 氏

地域福祉を推進する中核的な団体である社会福祉協議会。そこで、ボランティアコーディネーター、地域を担当するコミュニティワーカー、在宅ケアセンターのソーシャルワーカーとして、社協の職員（ワーカー）だからこそ大事にしてきた視点について語っていただきます。

【コーディネーター】 大阪人間科学大学 人間科学部社会福祉学科 准教授 石川久仁子 氏

【 kommentator】 大阪府立大学 地域保健学域 教授 小野達也 氏

| | |
|-------------|------------------|
| 17:10～17:15 | 次回開催地(兵庫県・神戸市)挨拶 |
| 17:15 | 閉会 |
| 17:30～19:30 | 交流会 |